

市議会だより

# あなぼん

市議会 3月定例会から

○令和8年度一般会計当初予算  
374億7,000万円(対前年度比1.0%増)を可決

山口町の桜





3月定例会のようす

### 3月定例会の概要

3月定例会は2月24日から3月26日までの31日間の会期で開きました。今議会では、専決処分の承認議案1件、条例の制定議案1件、条例の一部改正議案9件、条例の廃止議案3件、補正予算議案5件、当初予算議案18件、人事議案8件、その他の議案2件の47件の市長提出議案と議員提出議案3件を審議しました。

その結果、市長提出議案については原案のとおり承認、可決、同意、適任とし、議員提出議案については議案第1号は可決、議案第2号及び議案第3号は否決と決定しました。

12月定例会で継続審査としていた令和6年度各会計歳入歳出決算認定議案17件をいずれも原案のとおり認定、同じく継続審査としていた請願1件は継続審査と決定しました。

### 3月定例会日程 (会期31日間)

2月24日(火) 開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、決算審査特別委員長報告、質疑、討論、採決、議案の上程、予算審査特別委員会の設置、質疑、予算審査特別委員の選任、委員会付託、第14号議案の先議、委員長報告、質疑、討論、採決

3月4日(水)	一般質問
5日(木)	一般質問
9日(月)	一般質問、議案質疑、委員会付託
10日(火)	産業建設委員会
11日(水)	文教厚生委員会
16日(月)	総務委員会
17日(火)	予算審査特別委員会
18日(水)	予算審査特別委員会
23日(月)	予算審査特別委員会
26日(木)	閉会、各常任委員長報告、予算審査特別委員長報告、議員提出議案(議案第2号、議案第3号)の提案理由の説明、質疑、討論、採決、人事議案の提案理由の説明、採決、議員提出議案(議案第1号)の採決、閉会中の継続審査

### 同意した人事議案

○固定資産評価審査委員会委員  
岡久正 弘(徳島市)

○副市長

米田 勉(見能林町)  
島田 浩 寿(柳島町)

○人権擁護委員

勝瀬 奈奈子(橘町)  
西条 敬子(宝田町)  
中道 栄江(中大野町)  
原 礼子(福井町)  
古川 明美(羽ノ浦町)

### 討論

○令和7年12月定例会 第9号議案 令和6年度阿南市一般会計歳入歳出決算の認定について  
反対 1名 水谷 あゆみ  
賛成 1名 橋本 幸子

○第6号議案 阿南市国民健康保険税条例の一部改正について  
反対 1名 佐古 竜巳

○第20号議案 令和8年度阿南市国民健康保険事業特別会計予算について  
反対 1名 佐古 竜巳

○議案第2号 第15号議案令和7年度阿南市一般会計補正予算(第7号)に対する修正案について  
反対 1名 橋本 幸子

○議案第3号 第19号議案令和8年度阿南市一般会計予算に対する附帯決議案について  
反対 2名 湯浅 隆 浩  
藤本 圭

○令和7年請願第3号 日本国国章損壊罪の早期制定を求める意見書の提出を求める請願について  
継続審査について反対 1名  
梶原 ちひろ

## 一般質問を行った議員

○代表質問(75分)3人

星加美保

(みらい阿南)

佐々木 志満子

(市民クラブ)

子どもと未来の会

湯浅隆浩

(あなん至誠会)

○個人質問(60分)9人

武田光普

奥田勇

住友利広

大山憲

大橋祥太

荒谷みどり

広浦雅俊

梶原ちひろ

橘敬治

本会議における質問の順序は、代表質問は輪番制で、個人質問は抽選により決定しています。

## 令和6年度一般会計及び特別会計決算の審査概要

12月定例会において継続審査としていた、令和6年度一般会計及び16事業の特別会計を合わせた計17件の決算認定議案について、令和8年1月29日に決算審査特別委員会を開催し、議案の審査を行いました。



決算審査特別委員会の様子

### 一般会計歳入歳出決算

◇移住コーディネートターの成果についての質疑があり、令和6年度は関東地方から3世帯、中部地方から2世帯、近畿地方から1世帯の移住があった。また、移住者の住居について、空き家の情報提供も行っているとの説明があった。

◇調整債について、償還期日はいつか、また、利子の合計額はいくらになるのかとの質疑があり、償還期日は令和37年3月までの30年間を設定しており、3億7400万円の買入れを実行している。また、これにかかる利子は、7389万8650円となる見込みであるとの説明があった。

### 国民健康保険事業 特別会計歳入歳出決算

長期滞納者に対する資格証明書の送付件数についての質疑があり、令和6年4月1日以降に対象となった世帯は121世帯、8月1日以降は63世帯、12月1日以降は56世帯であるとの説明があった。

### 住宅新築資金等 貸付事業特別会計歳入歳出決算

償還未済額の約1億8000万円の件数の内訳と滞納要因は何かとの質疑があり、総貸付件数613件のうち、滞納件数は57件である。また、滞納の要因については、高齢化による収入の減少、生活保護受給、健康状態の悪化、死亡等であるとの説明があった。

## 一般質問ダイジェスト

### 図書館のまち阿南構想

**Q** 図書館と小中学校とのネットワーク構築について、どのような方法を考えているのか。

**A** 小中学校との連携については、図書館が各学校のニーズに合わせて本を貸出しする団体貸出しや、授業内容に沿った資料の提供、科学センターとの連携による学習支援、図書館と学校図書館サポーターとの連携を強化した学校図書館の運用支援を行っている。

また、図書館見学の受け入れを通じて、子どもの読書習慣と調べ

学習を支援するなど、これらの連携を通じて、小中学校と図書館、科学センターなどがひとつのネットワークのように機能し、子どもの知りたいという気持ちを醸成していきたいと考えている。

加えて、図書館のまち阿南構想に呼応し、各学校図書館ならではの読書テラスコーナーの設置や学校図書館システムを活用した効果的かつ効果的な運営について実践例を創出していく。

また、これらモデル事例を市教育委員会各施設はもとより、市全体にも広く周知し、協働の輪を拡大していく。

## マイナンバーカード 事務委託

**Q** マイナンバーカード事務を委託する郵便局が、羽ノ浦、加茂谷、福井の3郵便局のみであるのはどうしてか。

**A** 地域に密着した郵便局の機能と市の行政サービス体制を相互に生かすこの取り組みは、市民の利便性の向上につながると考えている。

マイナンバーカード関連業務は、専門的な知識と一定の事務処理時間を要する業務であることから、業務体制や人員面で安定的に事務を遂行できる郵便局を候補とする必要がある。

市内郵便局の配置や人口分布、市役所からの距離などを総合的に考慮するとともに、実施体制の構築が可能との意向が示された3局を選定した。

具体的には、人口が多い北区域を担う局として、集配センターを併設する規模の郵便局である羽ノ浦郵便局、市役所から一定の距離を有する南区域を担う局として福井郵便局、西区域を担う局として加茂谷郵便局を選定した。

## 産婦人科医療の充実

**Q** 安心して産み育てられる環境づくりと高齢者も通いやすい産婦人科医療の充実に向け、どのように取り組んでいくのか。

**A** 市内唯一の産婦人科診療を行っている阿南医療センターに対し、現在の診療体制を維持するため、医師事務作業補助の支援を行い、医師が診療に専念できる環境づくりに努めている。

また、2月18日、19日には、昨年度に引き続き、本市をはじめ1市4町で構成する南阿波定住自立圏、さらにはJ A徳島厚生連阿南医療センターとともに、国に対して、南部圏域の産婦人科医をはじめとする医師確保に向けた強力な支援を求める要望活動を行っている。

今後、南部圏域の各自治体をはじめ、医師会及び阿南医療センター等の関係機関と一丸となり、国や県への働きかけを継続し、全ての女性がどのライフステージにおいても、身近で安心して医療を受けられる体制の確保に向けて取り組んでいく。

## 水道管のA-劣化診断

**Q** 最新のA-技術を使って水道管の健康診断を行うことにより、断水や道路の陥没事故を未然にどの程度防げるようになるのか。

**A** A-による劣化診断により、劣化度を踏まえた漏水の恐れが高い箇所を特定することが可能となるため、計画的な更新の実施により管路の破損を未然に防ぐとともに、漏水事故の軽減が図られ、突発的な断水や水道管路の漏水に起因する道路の陥没事故等の未然防止につながるものと考えている。

## こども会議

**Q** 高校生を対象としたこども会議は、どのような進め方を検討されていますか。

**A** 市内在学の高中生を対象とした新たなタウンミーティングを計画しており、若者との意見交換を通じて得られる、柔軟な発想や新しい視点を本市施策に取り入れていきたいと考えている。

## わがまち予算

**Q** わがまち予算のモデル事業として実施された2地区の実践を通じ、どのような成果が得られ、どのような課題が見えてきたのか。

また、意見を聞いて終わりではなく、どのような意見をいただき、施策にどう反映していくのかをこどもたちに分かりやすく示し、自分たちの意見で、阿南市をより良いまちに変えていけることを実感できるようにすることで、本市の将来を担う若者の市政への関心、参画へとつなげていきたいと考えている。



復活したはのうら子どもフェスティバル

**A** 公民館から推薦のあった団体の中から、事業の公共性や地域課題の解決に資する観点に基づき2地区を選定した。

一つは長生地区において、避難所敷地内への災害時活用井戸を敷設する事業であり、既存の補助制度では対応が困難であったインフラ整備を通じ、地域の防災力を直接的に高めるものである。二つ目は羽ノ浦地区の、はのうらこどもフェスティバル開催事業で、昭和から令和にかけて長年親しまれながらも、会場である体育館の建て替えにより休止を余儀なくされていたもので、このたび地域一丸となった復活イベントとしてわがまち予算を活用した。

これら2件は、本制度の趣旨である地域特有の課題解決と地域全体での記念事業を体現するモデルとして選定した。

一方で、モデル事業を実践する中で、地域に様々な特色がある中、地域課題をどのように抽出するか、また、担い手不足などにより事業を実践するための組織等が未整備な地区があること等、地域によって様々な課題があることも見えてきた。

## 伊島の振興

**Q** 受入れ態勢の整備及び観光メニューの創出、遊歩道の再整備、案内板の設置、飲食・休憩スペースの確保など、来島者が快適に過ごせる環境づくりについてどのように考えているのか。

**A** 伊島の豊かな自然環境や海洋資源を生かした観光を推進するため、みなみ阿波観光局において、毎年5月下旬頃にイシマササユリの観賞や紀伊水道を一望できる断崖絶壁のカベヘラなどの景勝地を巡るツアーを企画・販売しており、今年度も定員10名のツアーが完売するなど、一定の誘客効果を上げている。

受入れ態勢の整備については、漁協の近くに島内の観光スポットや歴史・史跡等を表示した多言語対応の案内看板の設置や、一部歩道の整備を行っているが、引き続き、地域住民等のニーズを把握しながら、来島者が快適に過ごせる環境整備の在り方を検討し、一つ一つ着実に実行していきたいと考えている。

## 社会福祉政策の見通し

**Q** 共生社会の実現に向け、多様なニーズに基づく支援の在り方を議論するきっかけづくりとしてフォーラムまたはシンポジウム等を開催してはどうか。

**A** 介護予防や生きがいづくりをテーマとして、市民や地域、医療、介護関係者、さらには障害のある方やその家族にも参加をしていただき、ワークショップや意見交換の場を設け、多様な意見を積極的に何う取り組みを令和8年度に実施していく。

また、市民の方々からいただいた声を基に、その内容を丁寧に精査し、令和8年度に策定する高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画及び障害者基本計画などに反映させ、高齢者や障害者などが安心して地域で暮らし続けることができるまちづくりを目指していく。

## ハザードマップの作成

**Q** ハザードマップの作成と市民への配布はいつ頃になるのか。

**A** 本年2月4日に、県が新たに公表した南海トラフ巨大地震被害想定を受け、令和8年度に予算を計上し、津波防災マップを見直すこととしている。

津波防災マップは、浸水想定区域や避難場所、避難経路を事前に把握することで、災害時に迅速で適切な避難行動が可能となり、被害を最小限に抑える重要な役割を果たすものと認識していることから、令和8年度中のできる限り早い時期に市民の方々へ配布できるように、更新作業を進めていきたいと考えている。

## 阿南IC周辺の整備の進捗状況

**Q** 内陸型物流工業団地の早期実現に向けての進捗状況と今後の取り組みはどのようにしていくのか。

**A** 内陸型物流工業団地の整備を産業振興施策の柱の一つに位置付け、庁内プロジェクトチームを中心に、阿南インターチェンジ周辺における土地利用の促進や新たな産業団地の形成に向けた検討を進めている。

また、インターチェンジ周辺の



阿南インターチェンジ周辺

土地利用について、プロジェクトチームでの議論に専門的な知見を加えて、まちづくりや土地利用の規制・誘導に係る課題の整理を行い、エリアのゾーニングや土地利用の評価を実施している。

今後は、これらの結果を基に、各ゾーンの課題に対する対応策などの検討を行うとともに、事業者の動向把握や情報収集を進め、県や関係機関と緊密に連携しながら

ら、企業誘致活動にも積極的に取り組んでいく。

中でも、今後の成長が期待される蓄電池関連産業など新産業分野に重点を置き、本地域の地理的優位性を最大限に生かした産業拠点の形成を目指していく。

## 若い世代の市外流出

**Q** 若い世代が阿南市で暮らしたい、また阿南に戻ってきたいと思えるまちにしていくため、どのような政策を考えているのか。

**A** 中学生を対象とした地元企業を知ってもらうキャリア教育や市長対談企画「キラリ輝く」を通じた市内企業の魅力を広く発信していく。

あわせて、Uターン促進に向けた就業支援や少子化時代に人が集まる企業・地域の在り方を考える企業支援セミナーを開催し、誰もが働きたいと思える魅力的な雇用創出に積極的に取り組んでいく。

さらに、新たな総合計画を第3期阿南市まち・ひと・しごと創生総合戦略として位置付け、人口減少の抑止や人口減少に備える地方創生の取り組みと一体的に推進し

ている。

若者世代の定住が出生数の増加、人口減少の抑制にもつながることから、子育て環境の充実や防災・減災対策など、これまで取り組んできた施策をさらに充実・深化させるとともに、若者の雇用対策や魅力あるまちづくりに全力を注ぎ、出生減を加速させないためにも、若年層や女性が残りたい・戻りたいと思う地域づくりを全庁を挙げて取り組んでいく。

## 子育て支援

**Q** 5歳児健康診査事業について、実施体制やフォローアップ体制はどのようになっているのか。

**A** 令和7年度より必要なマンパワーの確保をはじめ、5歳児健康診査事業の早期実施に向けた体制づくりを進めてきた。

このたび、徳島大学病院の小児科において、発達障害や心身症などの診療を専門としてきた医師に協力をしていただけることとなり、県下8市に先駆けて、令和8年度より、集団健診方式で事業を開始する。

健診の実施に際して、幼児の保健医療に精通した医師を中心に、心理相談担当者や言語聴覚士、また保育士など、複数の専門職スタッフが連携して対応する体制を構築し、発達障害の早期発見及び早期支援につながる取り組みを進めていく。

加えて、健診結果に基づくフォローアップとして専門相談を実施し、子どもの発達状況に応じた環境調整や必要な療育、就学相談への継続支援を行っていく。

この取り組みにより、就学前の家庭の不安を軽減するとともに、子どもたちが集団生活や社会生活への円滑な適応を果たせるよう、支援を強化していく。

## 学校再編

**Q** 学校再編において、市として今以上に先導的な立場を取って進めていくべきではないか。

**A** 少子化が加速する中、第4期阿南市教育振興基本計画に基づき、児童・生徒にとつてより良い教育環境の向上を目指し、学校再編に取り組んでいる。市が将来のビジョンを示すこと



令和8年度末をもって閉校となる新野東小学校

## 発達障害児の増加と教育、福祉の構造

は重要であるとともに、保護者、地域住民、行政を含む学校関係者間での信頼関係の構築が重要になる。

さらに、再編後も地域との協力関係が不可欠であり、市としては、学校再編検討会を通じた丁寧な対話による合意形成を基本姿勢としていく。

**Q** 支援クラス分離を前提としな  
いインクルーシブ教育への転  
換を検討してはどうか。

**A** インクルーシブ教育への転換  
を求める声があることも承知

した上で、現時点では、まずは令和の日本型学校教育で示された通常学級による指導、特別支援学級、特別支援学校の連携を深めていくという相互補完型のインクルーシブ教育に軸足を置いていきたいと考えている。

また、特別支援学級への入級や通級による指導等には、医療機関との連携のもと、児童・生徒の教育的ニーズの把握や保護者への丁寧な説明に努めるとともに、保護者の意向を踏まえた上で必要な手続きを実施している。

さらに、学校生活においては、児童・生徒の状況に応じて、可能な限り通常学級で授業を実施することや障がいの種別を超えた自立活動を実施することなど、特別支援学級を完全に分離したカリキュラムではなく、一人一人の教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できるよう、保護者との連携により個別の指導計画を立てている。

このような取り組みにより、インクルーシブ教育システムの理念を尊重しつつ、児童・生徒の個別最適な学びにつなげるため、今後特別支援教育のさらなる充実に努めていく。

## 行政情報の周知状況

**Q** パソコンやインターネットなど情報通信技術を利用できる人とならない人の間に生じる情報量や機会等にも配慮しつつ、効果的な情報発信についてどのように取り組んでいるか。

**A** 高齢者が情報通信技術を活用できるように支援するため、これまで市内各公民館等で高齢者向けスマートフォン教室を開催してきた。

さらに、令和6年度からは、デジタル機器に関する悩み事の相談に職員が対応するデジタルなんでも相談室を各公民館等で実施しており、令和6年度は76人、今年度は73人が参加した。また、今年度



デジタルなんでも相談室のようす

は、デジタル活用支援推進事業を活用し、富岡公民館、羽ノ浦公民館、大野公民館、新野公民館でスマートフォン講習会を実施し、延べ47人が受講した。

情報発信については、情報通信技術を活用できない方にも確実に情報が届くよう、従来の広報紙や防災無線を継続するとともに、市のホームページ等のデジタル媒体との使い分けを意識した運用を行っている。

また、デジタル媒体として、令和2年5月に公式LINEを開設し、以来、防災情報やイベント情報など、市民の安全・安心に結びつく情報の配信に努めている。

## 6月定例会の予定

- 6月1日(月) 開会
- 6月9日(火) 一般質問
- 6月10日(水) 一般質問
- 6月11日(木) 一般質問・議案質疑
- 6月12日(金) 委員会
- 6月15日(月) 委員会
- 6月16日(火) 委員会
- 6月19日(金) 採決・閉会

日程は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。  
☎22-33399

## 行政視察の受入状況（令和 7 年度）

令和 7 年	5 月 15 日	岡山県備前市議会議員	6 人	「野球のまち推進事業について」
	7 月 31 日	三重県名張市議会議員	5 人	「野球のまち推進事業について」
	10 月 17 日	千葉県白井市議会議員	7 人	「トライアル・サウンディングについて」
	10 月 23 日	北海道森町議会議員	11 人	「野球のまち推進事業について」
	10 月 29 日	茨城県常総市議会議員	7 人	「阿南駅周辺のまちづくりについて」
令和 8 年	1 月 21 日	茨城県取手市議会議員	3 人	「野球のまち推進事業について」
	1 月 26 日	千葉県習志野市議会議員	3 人	「阿南市民間提案制度について」
	2 月 3 日	宮城県角田市議会議員	8 人	「野球のまち推進事業について」
	2 月 12 日	沖縄県宜野湾市議会議員	2 人	「阿南市立小中学校の ゆったりスタート期間について」
	2 月 19 日	千葉県館山市議会議員	6 人	「定住自立圏構想・広域行政について」



5 月 15 日 岡山県備前市議会議員 6 人



7 月 31 日 三重県名張市議会議員 5 人

## 本会議・委員会の生中継・録画映像をスマートフォン等で ご覧いただけます

本会議・委員会のインターネットによる生中継・録画映像配信を行っております。

(対象の委員会は、付託議案のある常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会となります。)

パソコン、スマートフォン等で阿南市議会のホームページもしくは[下記2次元コード\(左\)](#)からご覧いただけます。

また、ケーブルテレビでも本会議の様子を生放送しています。放送時間は午前10時から本会議終了までです。



議会映像インターネット配信アドレス  
<https://anan.media-streaming.jp/>

議会映像インターネット配信2次元コード



## アンケートにご協力ください

インターネット委員会映像配信についてのアンケートを実施していますのでご協力ください▶

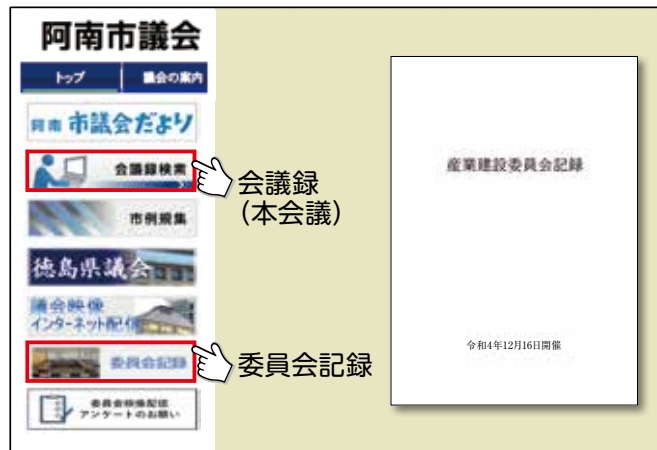
映像配信についてのアンケート  
2次元コード



## 会議録の閲覧ができます

定例会での質問や答弁の内容を詳しく知りたい方は、次の方法で閲覧できます。

- ①製本会議録を閲覧する方法  
市内図書館に製本会議録を配本しています。
- ②インターネットで閲覧する方法  
阿南市議会ホームページ→会議録検索を選択すると閲覧することができます。



## 委員会記録を ホームページに公開しています

委員会記録を市議会ホームページからご覧いただけます。閲覧が可能な委員会は付託議案のある次の委員会です。

**常任委員会** 産業建設委員会、文教厚生委員会、総務委員会

**特別委員会** 決算審査特別委員会、予算審査特別委員会

**議会運営委員会**

阿南市議会ホームページアドレス  
<https://www.city.anan.tokushima.jp/gikai/>

阿南市議会 HP  
2次元コード



## 定例会・臨時会提出議案の閲覧ができます

## 常任委員会及び予算審査特別委員会での審査

3月定例会において各常任委員会及び予算審査特別委員会では、付託された議案の審査を行いました。

以下審査の過程で出された主な質疑、意見等の内容を報告します。

### 産業建設委員会

#### 市長提出議案2件を審査

◇阿南市道の駅公方の郷なかかわ条例の一部改正について、撤去されるパーゴラは、これまでどのように使用されてきたのか、また、撤去後の敷地の活用方法についての質疑があり、これまでにパーゴラの中には飲食店等が入居し営業されていたが、近年は店舗が撤退して、その活用が課題となっていた。また、パーゴラの撤去後については、J A東とくしまが「とれとれ市公方」の増築工

事



産業建設委員会のようす

を行い、残ったスペースについては、市が芝生広場として整備し、活用するとの説明があった。

### 文教厚生委員会

#### 市長提出議案5件を審査

◇阿南市国民健康保険条例の一部改正について、なぜ、この

タイミングで増税することを選択したのかとの質疑があり、近年、医療の高度化や前期高齢者の占める割合の増加に伴い、1人当たりの医療費が増加していることから、税率の引き上げが必要な状況と



文教厚生委員会のようす

なっていたが、物価高騰による生活者の負担軽減策が講じられている状況もあり、令和5年度からの税率の改定は行っていないかつた。しかし、令和8年度には診療報酬の改定が予定されていることへの対応や、最低賃金の上昇による所得の増加が見込まれることを踏まえ、持続可能な国民健康保険事業の維持のためには、税率の引き上げが必要であるとの説明があった。

### 総務委員会

#### 市長提出議案8件と請願1件を審査

◇阿南市危機管理対策基金条例の制定について、災害復旧は対象となるのかとの質疑があり、県土強靱化・レジリエンス推進事業費補助金を活用するため、本基金条例は防災・減災対策事業に要する経費に充てることとしており、災害復旧は対象ではないとの説明があった。

これを受けて委員から、耐震化や避難所整備等のハード事業と、避難訓練等のソフト事業の割合

や優先順位はどのように予定しているのかとの質疑があり、令和8年度においてはスターリンクの通信費や防災訓練等のソフト事業に活用したいと考えているが、割合や優先順位は定めていない。今後、防災・減災対策事業に適したハード、ソフト事業の経費に充てていくとの説明があった。

さらに委員から、県の補助金が原資であるが、今後、何年分どの程度基金を積み立てる計画であるのかとの質疑があり、県補助金を活用するため本基金を設置するものであり、県補助金が次年度以降も継続された場合、県補助金に相当する額を基金に積み立てることとしているため、規模としては県の補助金額と同等額になるとの説明があった。



総務委員会のようす

予算審査特別委員会

◇粗大ごみ収集受付システムの内容についての質疑があり、粗大ごみの収集予約受付から配車計画の策定、収集リストの印刷や日報等の管理業務をシステム上で行うもので、市民の方には、はがきやインターネットを通じて粗大ごみの種類や数量を申し込んでいただき、指定された日時・場所に粗大ごみを出していただくとの説明があった。

◇子ども第三の居場所事業の運営体制と今後の方向性についての質疑があり、特定非営利法人たすけあい阿南に業務委託し、常勤スタッフ3名と補助員や学生ボランティアなどにより支援を行っている。今後は、学校や関係機関との連携をさらに図り、子どもたちが家庭や学校以外の場で信頼できる大人や友達と安心して過ごせる第三の居場所となるようしっかりと運営していくとの説明があった。

◇国民健康保険加入世帯数、被保険者が支払う保険税の総額及び保

険税増加分の金額について質疑があり、被保険者数を1万6000人、6700世帯と見込み、保険税の総額は10億5343万1000円となり、前年度比2603万1000円の増加となるとの説明があった。

◇エコノミックガーデニング事業の推進体制についての質疑があり、実効性のある取り組みとするためには、官民連携による推進体制の構築が不可欠であり、市職員をはじめ、市内の商工団体や阿南工業高等専門学校の関係者13人によるエコノミックガーデニング阿南ミーティング会議を組織し、中小企業の成長支援に向けた産学官の連携推進体制を整えているとの説明があった。

◇道路橋りょう維持管理費のうち自転車関連の交通インフラ整備について、どのように整備する予定かとの質疑があり、自転車で行くときの目安となる路側帯と車道を区別するための外側線の設置を実施するとの説明があった。

◇空き店舗活用補助金の概要についての質疑があり、中心市街

地の魅力とにぎわい創出、活性化につなげるため、中心市街地空き店舗を利用して新たに事業を行う方を対象に、店舗の改修や施設の借り上げ等に要する費用の一部を補助する事業であり、1件当たり100万円程度を限度とし、交付するものであるとの説明があった。



予算審査特別委員会の様子

◇野球のまち推進事業のうち、県外から合宿の際の支出額はいくらかとの質疑があり、歓迎セレモニー用の阿波踊りに3万5000円、ボール代に1万円程度支出しているとの説明があった。

◇要配慮者用組み立て式簡易トイレとは、どのようなもので、購入数と備蓄先についての質疑があり、車椅子に乗ったまま進入できるテントと、手すり付きの便器が一体となった組み立て式のトイレで、18台購入予定であり、備蓄先は、公民館やクリーンピュア阿南を予定しているとの説明があった。

◇消防救急デジタル無線装置の更新整備により、今後どのようなことが可能となるのかとの質疑があり、より安定した通信対応が可能となるほか、消防隊員が携帯する無線装置のダウンサイジング化や、無線受信感度向上等が図られ、さらに緊急自動車に設置する車両動態管理システムは、出動指令と同時に災害現場までの最短ルートを車載端末モニターに表示できるようにするとの説明があった。

◇要配慮者用組み立て式簡易トイレとは、どのようなもので、購入数と備蓄先についての質疑があり、車椅子に乗ったまま進入できるテントと、手すり付きの便器が一体となった組み立て式のトイレで、18台購入予定であり、備蓄先は、公民館やクリーンピュア阿南を予定しているとの説明があった。

# 3月定例会議決結果一覧

<b>承認議案</b>		
承認第 1 号	令和7年度阿南市一般会計補正予算（第5号）に係る専決処分の承認について	（原案承認）
<b>条例議案</b>		
第 1 号議案	阿南市危機管理対策基金条例の制定について	（原案可決）
第 2 号議案	阿南市職員の通勤手当に関する条例の一部改正について	（原案可決）
第 3 号議案	阿南市職員旅費条例の一部改正について	（原案可決）
第 4 号議案	阿南市交通遺児育英基金の設置、管理及び運用に関する条例等の一部改正について	（原案可決）
第 5 号議案	阿南市青少年健全育成センター設置条例の一部改正について	（原案可決）
第 6 号議案	阿南市国民健康保険税条例の一部改正について	（原案可決）
第 7 号議案	阿南市国民健康保険診療所条例の一部改正について	（原案可決）
第 8 号議案	阿南市介護保険条例の一部改正について	（原案可決）
第 9 号議案	阿南市道の駅公方の郷なかがわ条例の一部改正について	（原案可決）
第 10 号議案	阿南市火災予防条例の一部改正について	（原案可決）
第 11 号議案	阿南市基金運用に関する第三者調査委員会設置条例の廃止について	（原案可決）
第 12 号議案	阿南市新型コロナウイルス感染症対策応援基金条例の廃止について	（原案可決）
第 13 号議案	阿南市消防施設等整備充実基金条例の廃止について	（原案可決）
<b>補正予算議案</b>		
第 14 号議案	令和7年度阿南市一般会計補正予算（第6号）について	（原案可決）
第 15 号議案	令和7年度阿南市一般会計補正予算（第7号）について	（原案可決）
第 16 号議案	令和7年度阿南市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	（原案可決）
第 17 号議案	令和7年度阿南市夜間休日診療所事業特別会計補正予算（第2号）について	（原案可決）
第 18 号議案	令和7年度阿南市公共下水道事業会計補正予算（第3号）について	（原案可決）
<b>当初予算議案</b>		
第 19 号議案	令和8年度阿南市一般会計予算について	（原案可決）
第 20 号議案	令和8年度阿南市国民健康保険事業特別会計予算について	（原案可決）
第 21 号議案	令和8年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計予算について	（原案可決）
第 22 号議案	令和8年度阿南市伊島診療所事業特別会計予算について	（原案可決）
第 23 号議案	令和8年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計予算について	（原案可決）
第 24 号議案	令和8年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計予算について	（原案可決）
第 25 号議案	令和8年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	（原案可決）
第 26 号議案	令和8年度阿南市介護保険事業特別会計予算について	（原案可決）
第 27 号議案	令和8年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計予算について	（原案可決）
第 28 号議案	令和8年度阿南市学校給食事業特別会計予算について	（原案可決）
第 29 号議案	令和8年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計予算について	（原案可決）
第 30 号議案	令和8年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計予算について	（原案可決）
第 31 号議案	令和8年度阿南市後期高齢者医療特別会計予算について	（原案可決）
第 32 号議案	令和8年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計予算について	（原案可決）
第 33 号議案	令和8年度阿南市夜間休日診療所事業特別会計予算について	（原案可決）
第 34 号議案	令和8年度阿南市水道事業会計予算について	（原案可決）
第 35 号議案	令和8年度阿南市公共下水道事業会計予算について	（原案可決）
第 36 号議案	令和8年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業会計予算について	（原案可決）
<b>その他の議案</b>		
第 37 号議案	阿南市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	（原案可決）
第 38 号議案	辰巳那賀川樋門の施行に関する基本協定の変更について	（原案可決）
<b>人事議案</b>		
第 39 号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	（原案同意）
第 40 号議案	副市長の選任について	（原案同意）
第 41 号議案	副市長の選任について	（原案同意）
諮問第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	（適任）
諮問第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	（適任）
諮問第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	（適任）
諮問第 4 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	（適任）
諮問第 5 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	（適任）
<b>議員提出議案</b>		
議第 1 号	阿南市議会会議規則の一部改正について	（原案可決）
議第 2 号	第 15 号議案 令和7年度阿南市一般会計補正予算（第7号）に対する修正案について	（否決）
議第 3 号	第 19 号議案 令和8年度阿南市一般会計予算に対する付帯決議（案）	（否決）
<b>請願</b>		
令和7年請願第3号	日本国国章損壊罪の早期制定を求める意見書の提出を求める請願（継続分）	（継続審査）
<b>令和7年12月定例会で継続審査となっていた決算認定議案</b>		
第 9 号議案	令和6年度阿南市一般会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 10 号議案	令和6年度阿南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 11 号議案	令和6年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 12 号議案	令和6年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 13 号議案	令和6年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 14 号議案	令和6年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 15 号議案	令和6年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 16 号議案	令和6年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 17 号議案	令和6年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 18 号議案	令和6年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 19 号議案	令和6年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 20 号議案	令和6年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 21 号議案	令和6年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 22 号議案	令和6年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 23 号議案	令和6年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 24 号議案	令和6年度阿南市夜間休日診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 25 号議案	令和6年度阿南市椿診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）